

法人企業景気予測調査

(令和8年1-3月期調査)

青森県分

令和8年3月12日

財務省東北財務局青森財務事務所

【調査要領】

1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施した。

2. 調査対象の範囲

資本金1千万円以上の法人企業。

ただし、電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上を対象。

3. 調査時点 令和8年2月15日

4. 調査対象期間

判断項目： 8年1～3月期又は3月末見込み、8年4～6月期又は6月末見通し、
8年7～9月期又は9月末見通し

計数項目： 6年度実績、7年度実績見込み、8年度見通し(計画)

5. 調査対象企業数及び回収率

区分	製造業	非製造業	全産業
調査対象企業数	24	73	97
回答企業数	23	69	92
回収率 %	95.8	94.5	94.8

1. 企業の景況判断 …

現状は「下降」超幅が拡大

先行きは「上昇」超に転じる見通し

(現状判断)

8年1~3月期の企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超幅が拡大している。

業種別にみると、製造業は「下降」超幅が拡大しており、非製造業は「均衡」から「下降」超となっている。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

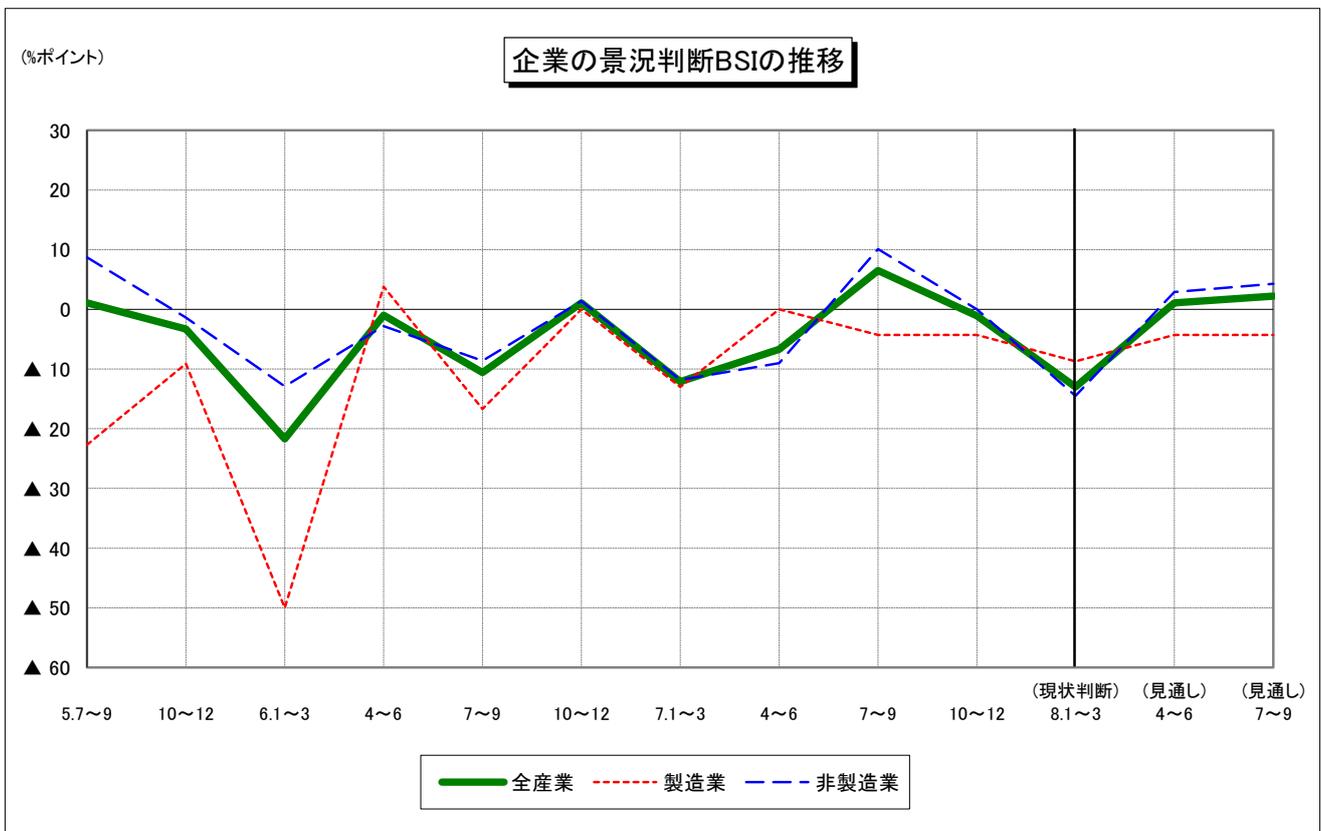
企業の景況判断BSI 【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区分	7年10~12月 (7年10-12月期調査)	8年1~3月 現状判断	8年4~6月 見通し	8年7~9月 見通し
全産業	(▲ 1.1)	(▲ 3.3) ▲ 13.0	(2.2) 1.1	2.2
業種別				
製造業	(▲ 4.3)	(4.3) ▲ 8.7	(8.7) ▲ 4.3	▲ 4.3
非製造業	(0.0)	(▲ 5.8) ▲ 14.5	(0.0) 2.9	4.3

(注) () 書きは前回調査結果



**2. 国内の景況判断 … 現状は「下降」超幅が縮小
先行きは8年4～6月期に「均衡」となり、
8年7～9月期に「上昇」超となる見通し**

(現状判断)

8年1～3月期の国内の景況判断BSIは、全産業では「下降」超幅が縮小している。
業種別にみると、製造業、非製造業とも「下降」超幅が縮小している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では8年4～6月期に「均衡」となり、8年7～9月期に「上昇」超となる見通しとなっている。

国内の景況判断BSI 【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区分	7年10～12月 (7年10-12月期調査)	8年1～3月 現状判断		8年4～6月 見通し		8年7～9月 見通し	
	全産業	(▲ 14.9)	(▲ 8.1)	▲ 5.5	(▲ 1.4)	0.0	5.5
業種別	製造業	(▲ 23.8)	(▲ 14.3)	▲ 9.5	(4.8)	▲ 14.3	▲ 4.8
	非製造業	(▲ 11.3)	(▲ 5.7)	▲ 3.8	(▲ 3.8)	5.8	9.6

(注) ()書きは前回調査結果

**3. 売上高 … 7年度は増収見込み
8年度は増収見通し**

7年度の売上高は、製造業で4.0%、非製造業で3.4%の増収見込みとなっており、全産業では3.6%の増収見込みとなっている。

8年度の売上高は、製造業で7.5%、非製造業で2.6%の増収見通しとなっており、全産業では4.5%の増収見通しとなっている。

売上高

(前年度比増減率:%)

区分	製造業		非製造業		全産業	
	7年度	(8.2)	4.0	(3.2)	3.4	(4.7)
8年度		7.5		2.6		4.5

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は7年度 67社(うち製造業19社、非製造業48社)
8年度 54社(うち製造業16社、非製造業38社)

**4. 経常利益 … 7年度は増益見込み
8年度は減益見通し**

7年度の経常利益は、製造業で13.3%、非製造業で27.0%の増益見込みとなっており、全産業では20.8%の増益見込みとなっている。

8年度の経常利益は、非製造業で9.0%の増益見通しとなっているものの、製造業で19.1%の減益見通しとなっていることから、全産業では2.5%の減益見通しとなっている。

経常利益

(前年度比増減率:%)

区分	製造業		非製造業		全産業	
	7年度	(25.3)	13.3	(28.1)	27.0	(27.0)
8年度		▲ 19.1		9.0		▲ 2.5

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は7年度 67社(うち製造業19社、非製造業48社)
8年度 54社(うち製造業16社、非製造業38社)

**5. 設備投資 … 7年度は減少見込み
8年度計画は増加見通し**

7年度の設備投資は、製造業で49.5%、非製造業で42.3%の減少見込みとなっており、全産業では45.8%の減少見込みとなっている。

8年度の設備投資計画は、製造業で79.2%、非製造業で36.1%の増加見通しとなっており、全産業では56.2%の増加見通しとなっている。

設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	7 年 度	(▲ 51.1)	▲ 49.5	(▲ 39.9)	▲ 42.3	(▲ 45.1)
8 年 度		79.2		36.1		56.2

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は7年度 72社(うち製造業19社、非製造業53社)
8年度 59社(うち製造業16社、非製造業43社)

**6. 従業員数判断 … 現状は「不足気味」超幅が拡大
先行きは「不足気味」超で推移する見通し**

(現状判断)

8年3月末時点の従業員数判断BSIは、全産業では「不足気味」超幅が拡大している。業種別にみると、製造業、非製造業とも「不足気味」超幅が拡大している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

従業員数判断BSI 【原数値】

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区 分	7年12月末	8年3月末		8年6月末		8年9月末	
	(7年10-12月期調査)	現 状 判 断		見 通 し		見 通 し	
全 産 業	(36.7)	(36.7)	43.3	(37.8)	45.6	40.0	
業 種 別	製 造 業	(34.8)	(47.8)	52.2	(52.2)	56.5	52.2
	非製造業	(37.3)	(32.8)	40.3	(32.8)	41.8	35.8

(注)()書きは前回調査結果

(参考資料1) 計数調査対象全業種集計結果

売上高 (前年度比増減率:%)

区 分			全 産 業
	製 造 業	非製造業	
7 年 度	4.0	3.4	3.6
8 年 度	7.5	2.6	4.5

(注)1. 電気・ガス・水道を含み、金融・保険は含まない(調査対象外)

2. 集計企業数は7年度 68社(うち製造業19社、非製造業49社)
8年度 55社(うち製造業16社、非製造業39社)

経常利益 (前年度比増減率:%)

区 分			全 産 業
	製 造 業	非製造業	
7 年 度	13.3	28.5	22.4
8 年 度	▲ 19.1	6.6	▲ 2.5

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を含む

2. 集計企業数は7年度 72社(うち製造業19社、非製造業53社)
8年度 59社(うち製造業16社、非製造業43社)

(参考資料2) 設備投資(土地購入額を含み、ソフトウェア投資額を除く)

(前年度比増減率:%)

区 分			全 産 業
	製 造 業	非製造業	
7 年 度	▲ 50.9	▲ 41.3	▲ 46.0
8 年 度	72.6	36.8	53.0

(注)1. 石油・石炭、電気・ガス・水道を除く

2. 集計企業数は7年度 70社(うち製造業18社、非製造業52社)
8年度 57社(うち製造業15社、非製造業42社)

(参 考)

BSIについて

BSI(ビジネス・サーベイ・インデックス)は、上昇、下降などの
変化方向別回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。

※BSI = (「上昇」等と回答した企業の構成比)
-(「下降」等と回答した企業の構成比)

(例)「企業の景況」の場合、前期と比べて、

「上昇」と回答した企業の構成比 15.0%

「不変」と回答した企業の構成比 55.0%

「下降」と回答した企業の構成比 25.0%

「不明」と回答した企業の構成比 5.0%

BSI = 15.0% - 25.0% = ▲10.0%ポイント

…10.0%ポイントの「下降」超

本調査に関するお問い合わせは、下記へ願います。

東北財務局 青森財務事務所 財務課

電話 017-722-1462(直通)

FAX 017-777-3177

青森財務事務所ホームページ

